

令和3年度

比叡山中学校 学校評価

令和3年度
重点目標

- 1) 学園の理念を学校生活で実現するため、「掃除・挨拶」を徹底し、「朝礼」の充実を図り校訓の具現につとめる。校訓と学校実践目標の励行によって、「知識・技能を身につけ、行動力をもって社会貢献でき、これからの時代を生き抜く力を持つ生徒」を育てる。
- 2) 学習習慣づくりをサポートし、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、主体的に学ぼうとする力を育てる。
- 3) 日々のホームルーム活動・部活動、また体験学習等の学校行事を通じて、生徒のコミュニケーション能力を育てるとともに、自主自立（自律）を促す。
- 4) 基本的な学校生活の習慣を確立することを最優先として、学習と部活動のバランスをはかる。
- 5) 学校図書教育を充実させ、読書週間と図書室の接点をはかり、自ら書物に親しみ、深く考察する視点を養う。
- 6) 特別支援教育の視点を共有しつつ、生徒と教員の人権意識や個性を認める支援の充実をはかり、いじめ・体罰を許さず、人と人の絆を大切に作る集団づくりをめざす。
- 7) 生徒と向き合い、懇談会の充実や説明会の対話を通じて、保護者との連携を深めて信頼関係を築く。
- 8) 個々の教員及び教員集団としての資質・能力・指導力の向上をはかる。主体的・対話的・深い学びの実現をめざして、ICT教育の研究と推進、グローバル教育の充実をはかる。
- 9) 中高同一敷地となった新しい学習環境を生かし、教職員の一体化をめざした体制整備を進める。
- 10) 本校ならではの独自の魅力を広く伝え、積極的な入試広報活動につとめ、本校の理念を深めていける生徒の入学につなげる。

領域	評価項目	中間評価	年度末評価	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	・学校の教育方針や教育目標、教育活動について理解が得られるよう分かりやすく説明している。	A		
	・学校の教育方針や教育目標が実現できるよう具体的な取り組みを進めている。	A		
2 学習指導	・基礎学力充実のため授業を工夫し、学習習慣を身につけさせ、生徒自らが学習する力を育てている。	A		
	・家庭学習の習慣を身につける指導を行っている。	A		
3 生徒指導	・掃除・挨拶を中心に、基本的な生活習慣の確立に向けた効果的な指導に努めている。	B		
	・規則や規律を守る指導が適切に行われ、社会の一員としての意識を高める取り組みができています。	A		
4 進路指導	・6年間を見通した個々の能力・資質の伸長につながる適切な進路指導が行われている。	B		
	・将来の目標達成に向けて、進路に関する情報や資料の収集、およびそれらの提供が適切に行われている。	B		
5 特別活動	・部活動が顧問の指導の下に、生徒が主体性を持って取り組み、活発で有意義な活動となっている。	A		
	・体育祭・文化祭などの学校行事を通じ、生徒会活動や学級活動が互いに高め合い認め合う活動が行われている。	B		
6 学校図書室	・生徒に必要な本や情報を提供し、図書室の利用を促進するように努めている。	A		
	・教員が授業やHRなどを通じて、図書のおもしろさや大切さ、また図書室の利用をすすめている。	B		
7 保健・安全指導	・日常の健康観察に努めるとともに、生徒の病気やけがに対し適切な対応ができています。	A		
	・保健室だよりなどの情報提供により、健康・安全に対する意識の向上に努めている。	A		
8 人権教育	・個々の生徒がお互いの人権を尊重し合える、「いじめ」のない集団づくりに努めている。	A		
	・校内人権デーなどの人権学習を通じ人権意識向上に努め、生徒の個性を認める支援を適切に行っている。	B		
9 環境教育	・ゴミの分別の指導やリサイクル運動への取り組みなど、環境問題に対する意識を向上させる指導を行っている。	B		
	・清掃活動に意欲的に取り組み、トイレや教室を美しく保つ指導を行っている。	A		
10 事務・管理	・教育活動に必要な備品、消耗品についての整備がなされている。	A		
	・個人情報の管理を含め、適切な文書管理が行われている。	A		
11 その他 学校の取り組み	・朝礼及び朝礼訓話を通じて、生徒の精神的な成長を促す取り組みが行われている。	A		
	・クラス担任や学年主任が中心になって、保護者との連携がとれている。	A		
	・学校生活の様々な場面で、体罰・いじめの防止および早期発見に努め、迅速な対応が適切な対応が行われている。	A		
	・教育相談体制が整備され、個々の事例に対して協働して支援する体制づくりに努めている。	A		
	・ホームページ等を活用し、教育活動・学校案内についての情報発信に努めている。	A		
	・ICT機器を用いるなどして、生徒の主体的、協働的な学習や活動が深まるように努めている。	A		
	・異文化との交流を積極的に行い、多様な文化や考えに接し協働できる取り組みが行われている。	B		

7月 学校目標に基づいた評価項目の公表
 評価表の見方 10月 中間評価の公表(9月までの教育活動に対する中間評価)A・B・C・Dの4段階で示す。
 3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する評価)A・B・C・Dの4段階で示す。

・A・B・C・Dの基準は、肯定的な評価が75%以上を「A」、50%以上75%未満を「B」、25%以上50%未満を「C」、25%未満を「D」とする。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は学校関係者(保護者・近隣小学校・地域)・保護者アンケートによる評価。

2021(令和3)年度 学校評価 教員対象中間アンケート結果 80名(回収率96.4% 9月実施)

本年度の重点目標	1「学びの充実」 各類型・コースに応じて、教科・科目で授業の研鑽を行ない、主体的・対話的・深い学びの実現を目指す。 2「創る未来」 変化していく社会の現状を把握し、自らが考え、将来の目標ができるようにキャリア教育の充実を図る。 3「高まる能力」 探究学習・ICT教育を通じて、生徒たちの潜在的な能力を高め、自信にあふれ積極的に行動できる力を育てる。 4「深まる人格」 朝礼・集会・学校行事を通じ、建学の精神に基づいた情操教育活動の中で、互いに高め合い認め合う人格を形成する。 5「豊かな経験」 高校生活での様々な活動を通して、他者の考えを理解し、自己の考えを他者に伝えることができ、多様な文化・考えを持つ人々とも協働できる力を育てる。 6 5つの目標を連携させ、「知識・技能を身につけ、行動力を持って社会貢献でき、これからの時代を生き抜く力を持つ生徒」の育成に努める。 7 生徒・教員の人権意識の向上や個性を認める支援の充実をはかり、いじめ・体罰を許さず、人と人の絆を大切に作る集団づくりを目指す。 8 学校図書教育を充実させ、授業と図書室の接点をはかる。 9 大学入学共通テストや新学習指導要領に対して、その研究と対策を進める。 10 目指す生徒像やそのための取組み・部活動実績・進学実績など、本校の魅力を広く伝える広報活動の充実をはかる。	今年中間	昨年最終
		1 学校経営	学校の教育方針や教育目標、教育活動について理解が得られるようわかりやすく説明している。 学校の教育方針や教育目標が実現できるよう具体的な取り組みを進めている。
2 学習指導	学習習慣の確立に向けた指導が丁寧に行われている。 各類型(コース)に合わせた適切な学習指導が行われている。	A	B
3 生活指導	掃除・挨拶を中心に、基本的な生活習慣の確立に向けた効果的な指導ができています。 規則や規律を守る指導が適切に行われ、社会の一員としての意識を高める取り組みができています。	A	A
4 進路指導	各類型(コース)に合わせた計画的な進路指導が行われている。 進路に関する情報や資料の収集、およびそれらの提供が適切に行われている。	A	A
5 特別活動等	観友祭(文化祭・体育祭)をはじめとして、生徒会活動やHR活動が活発に行われている。 部活動が顧問の指導の下に、活発で有意義な活動となっている。	B※	A
6 学校図書館	図書室の情報提供し、図書室の利用を促進するように努めている。 授業やLHRなどを通じて、読書や図書室利用を積極的にすすめている。	A	A
7 保健指導	日常の健康観察に努めるとともに、生徒のけがや病気に対して適切な対応ができています。 保健だよりなどの情報提供などにより、健康・安全に対する意識の向上に努めている。	A	A
8 人権教育	諸行事などをはじめとして、個々の生徒がお互いを尊重し合えるような集団づくりに努めている。 LHRや映画鑑賞をはじめとして、生徒の人権意識を高める指導に努めている。	A	A
9 環境教育	清掃活動などの指導を通じて、美化意識の向上に努めている。 ゴミ分別の指導や節電への取り組みなど、環境問題に対する意識を向上させる努力がなされている。	A	A
10 事務・管理	教育活動に必要な備品、消耗品についての整備がなされている。 個人情報の管理を含め、適切な文書管理が行えている。	A	A
11 その他 学校の取り組み	厳粛な朝礼および朝礼訓話を通じて、生徒の精神的な成長を促す取り組みが行えている。 クラス担任・学年主任が中心となって、保護者との連携が行われている。 学校生活の様々な場面で、いじめの防止および早期発見のための取り組みが適切に行われている。 ホームページ等を活用して、教育活動・学校案内についての情報発信に努めている。 教育相談体制が整備され、個々の事例に対して適切に対応できている。 ICT機器を用いるなどして生徒の理解を深めるように努めている。 異文化との交流を積極的に行ない、多様な文化や考えに接し協働できる取り組みが行なわれている。 新型コロナウイルス感染防止に努め、生徒の学習の機会を保証し、安全な教育活動に努めている。	A	A
		C※	C
		A	

※B・C評価が得られた項目は新型コロナウイルス感染拡大による体育祭・分解祭行事の中止や海外研修の中止が影響していると考えられる

(注)・評価表の見方
・評価者は、教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある)
・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表
10月 中間評価の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) ABCDの4段階で示す。
12月 保護者による評価の公表(2学期末までの教育活動に対する評価) ABCDの4段階で示す。
3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する総合評価) ABCDの4段階で示す。